

普及啓発部会 活動報告書

部会長 新保文彦

1 今年度の取組

① 「医療と教育と福祉の合同研修会」の開催

8月30日開催。申し込み人数708名。初めてのWEB（当日＋見逃し配信）での発信だったが、皆さんの協力のお陰で開催でき多くの方々に参加いただき盛会となる。広く啓発するという意味では、WEB研修の効果を実感した。

② 発達障がいサポーター養成講座の所属別講座の実施

教員にスポットを当てて実施。9月9日、16日開催の小・中学校「中核特別支援教育コーディネータ研修会」の一コマに、「発達障がいサポーター養成講座の講師養成研修」を組み込んで51名を講師認定した。講師として認定された中核特Coには、各学校で教員向けに講座を開催するよう依頼し、随時開催中。

③ 発達障がいサポーター養成講座の講師育成に関する検討とまとめ

実動可能な講師の把握と講師へのフォローアップを行うため、更新制度を検討。令和3年度の運用開始に向けて、要綱や講師の活動に係る細則を整理した。

④ 発達障がいサポーター養成講座のWEB開催の検討

「発達障がいサポーター養成講座」のWEBにての開催を目指し課題の検討。（画面表示用にパワポ資料の作成等）コロナ禍での啓発なので直近の課題であり、次年度の運用開始を目標に調整中。

⑤ ペアレントメンターのフォローアップ研修の検討

研修をWEBにて2月4日、15日に開催予定。効果的な活動のあり方については次年度に検討を進める。

2 今後の方向性

今後は、コロナ禍の中でいかに発達障がいに関する啓発活動を効果的に実行できるか、部会員・協力部会員・県の関係者の皆さんと検討し実践してゆきたいと考えています。

3 来年度取り組むべきこと

① 「医療・教育・福祉の合同研修会」のWEB開催。

② 「サポーター養成講座」中核特別支援教育コーディネータ研修会への参加継続。

③ 「サポーター養成講座」講師の更新制度運用開始のための準備。

④ 「サポーター養成講座」のWEB開催実行のための準備。

⑤ 「ペアレント・メンター」のフォローアップと効果的活動の検討。

⑥ 今年度の部会で提案があった、「こどもへの啓発」についての検討。

⑦ 「発達障がい啓発週間」における全県下での取り組み等の検討。

以上